

あなたの身近にいつも…アキレス



第103期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

CONTENTS

トップインタビュー	P1
セグメント別事業の概況	P3
連結財務諸表	P6
トピックス	P7
会社概要／株式の状況	P9

証券コード：5142

未来へ世界へ、
……ing.

A decorative graphic on the right side of the page. It features a globe with a hexagonal pattern in shades of green and yellow. The globe is surrounded by bright, radiating light rays in yellow and orange, creating a sense of energy and forward movement. The background is a gradient of yellow and orange with abstract geometric shapes.

Top Interview

トップインタビュー

株主・投資家の皆様には平素は格別のご支援を賜り深く感謝申し上げます。

当社グループの2022年4月1日より9月30日までの報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

Q 第103期上半期を振り返ってのご説明をお願いします。

A 当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策と経済社会活動の両立により回復基調となった一方で、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の上昇などの影響がありました。日本経済も、経済活動の正常化に伴う回復が見られたものの、エネルギー・原材料価格の上昇や急激な円安などの影響により、先行き不透明な状況が継続しました。

Q どのような取り組みをされたのか具体的に説明ください。

A このような事業環境のもと、当社グループは企業価値の増大を目指して、お客様が求める商品・ブランド力のある商品創りに注力してまいりました。具体的には感染症対策製品、省エネルギー関連製品、環境対応製品、防災関連製品、生活関連製品、インフラ整備関連製品などの重点分野、

およびグローバル化へ積極的な事業展開を推進するとともに、継続してコストダウンおよび省エネルギー・廃棄物の削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高40,800百万円(前年同四半期比12.0%増)となりました。

営業利益は、エネルギー・原材料価格や物流費の上昇、円安の影響等への対応として、一層のコストダウン活動や価格改定を推進しましたが、102百万円の営業損失(前年同四半期は608百万円の営業利益)となりました。

経常利益は、為替相場が円安に推移したことにより、営業外収益に為替差益の計上がありました。前年同四半期に比べ366百万円減少し、489百万円(前年同四半期比42.8%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ348百万円減少し、166百万円(前年同四半期比67.7%減)となりました。

なお、まことに不本意ではございますが、通期業績予想を踏まえて中間配当につきまして実施を見送らせていただきました。



代表取締役社長

日景一郎

Q 今後に向けての事業展開について ご説明ください。

A ウクライナ情勢の長期化やエネルギー・原油価格の高騰、半導体不足などが継続し、景気回復に影響を与えることが予想されます。

また、今後も新型コロナウイルス感染症の収束までは感染拡大防止と経済活動活性化のバランスを図る取り組みが続き、不安定な状況が継続するものと考えられます。

中長期的には、国内では少子高齢化の進行に伴い、人口減少と年齢構成の変化による生産活動や消費行動の一層の多様化が予測され、世界的には、新興国の生産・消費が回復・拡大すると予想されます。その一方で、SDGs(持続可能な開発目標)の重要性がさらに増し、脱炭素社会に向けて企業の変革が求められると思われれます。また、AI、ICTの発達は新たな事業を創出・拡大する反面、既存事業の構造や働き方の改革が求められることが予想されます。

また、大きな自然災害や感染症の拡大により、多数の尊い人命が奪われ、経済活動にも大きな影響を与

えましたが、このような不確実性の高い社会に対応する柔軟で強靱な体質を作り上げていかなければなりません。

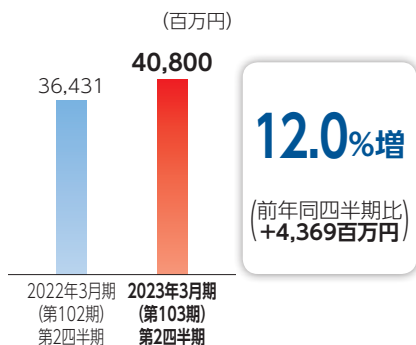
世界・日本における生産や消費の大きな変化に対応し、持続的な成長を遂げるため、当社グループが保有する技術と経営資源を最大限に活かし、積極的・効率的な展開を図ることにより「企業に社会に未来に、新たな価値を創り続けていくこと」で『人と環境にやさしく快適な生活空間を創造する企業』を目指します。

Q 最後に株主・投資家の皆様に向けて 一言お願いします。

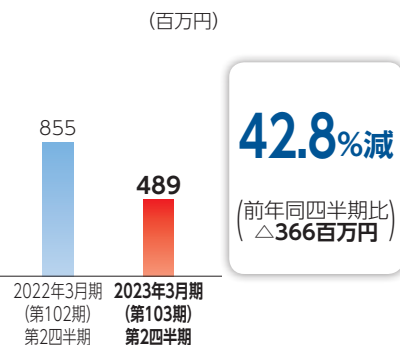
A 当社グループは、持続的成長を遂げ企業価値を高めることを目的としてグループ全員が情熱と論理をもって、国際的に逞しい会社を目指し、より大きな価値を創造する企業集団を構築してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

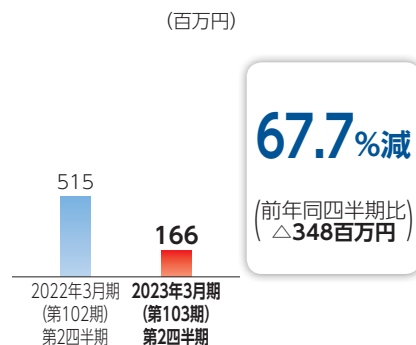
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



セグメント別事業の概況



シューズ事業

シューズ事業

■売上高**5,343**百万円（前年同四半期比 **4.3%**増）

売上構成比
13.1%

新型コロナウイルス感染者数減少に伴う市況の回復により、主力である衝撃吸収素材「ソルボセイン」搭載のコンフォートシューズ「アキレス・ソルボ」や、ジュニアスポーツシューズ「瞬足」、世界有数のランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」の販売が好調に推移し、前年売上を上回りました。

Pick up 足育（そくいく）相談室の活動

当社では、本社ショールームでの「足型測定 & カウンセリング」のほか、小中学校等に向く「出前講座」など、足に合う靴を正しく履いて足の機能を育てる「足育（そくいく）」の普及を目指した活動に取り組んでいます。足や靴のお悩みがございましたら、お気軽にご相談ください。



足型測定の様子

アキレス 足育相談室

<https://www.achilles-shoes.com/sokuiku/>



ACHILLES SORBO



アキレス・ソルボ

2022年9月発売の新モデルは、ソールデザインの自由度を優先したハンドメイド製法を採用。独自素材「ACROFOAM(アクロフォーム)」を前足部に配置し、ブランド最大の特長である快適な履き心地はそのままにカジュアルさと「抜け感」を演出します。

瞬足 足育ベビー



瞬足 足育ベビー

「子供たちの足に合う靴がない！」という保護者の方々の悩みを解消すべく、令和生まれの子供の足の傾向（甲高、幅広、踵狭）に対応した新モデルを開発。子供が自分で履きやすく、保護者が履かせやすい工夫を随所に取り入れています。

BROOKS



BROOKS(ブルックス)

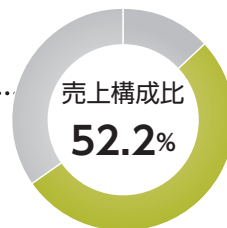
100年を超える歴史を持つランニングシューズブランド「BROOKS(ブルックス)」。最新作「Ghost 15(ゴースト15)」は、ミッドソール「DNA LOFT v2(ディーエヌエーロフトブイツー)」を搭載し、軽量かつソフトな履き心地を提供します。



プラスチック事業

プラスチック事業

■売上高**21,318**百万円（前年同四半期比 **20.3%**増）



車輦内装用資材は、半導体不足等による自動車メーカーの生産が国内では回復基調に推移したものの、北米・中国市場における減産継続の影響により、前年売上を下回りました。

化成品は、中国でのロックダウンや欧州エネルギー事情などの影響により、国内外でエレクトロニクス用、エクステリア用フィルムが苦戦しましたが、北米での医療用フィルムの販売が大きく伸長し、前年売上を上回り

ました。

建装資材は、床材、壁材ともに新柄が好調に推移し、前年売上を上回りました。

防災対策商品は、エアーテントが伸び悩みましたが、米国向けゴムボートの販売が好調に推移し、前年売上を上回りました。



医療用フィルム

医療関連分野に対し、多様な商品設計の軟質フィルムを供給しています。厳しい性能が求められるバイオ医薬品の製造工程用、病院等で使用される廃液バッグ、ヘルスクエア用など、様々な場面で活躍しています。



粘着壁紙「壁STRY(カベストリー)」

既存の壁紙の上にそのまま貼れるDIY向けの壁紙です。あらかじめ裏面に粘着剤が付けられているため簡単に貼ることができ、手軽にお部屋の雰囲気を変えることができます。フリースの素材感を活かした5柄14点をラインナップしています。



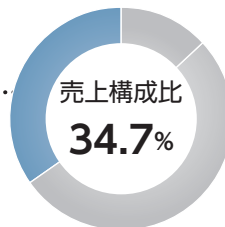
インフレーターブルボート「HB-315DX」

船艇にFRP(強化繊維プラスチック)を採用したインフレーターブルボート「HB-315DX」。安定した走行性能とデザイン性で高い評価をいただいています。コロナ禍のアウトドアブームを受け、北米を中心に販売が好調です。



産業資材事業

■売上高**14,138**百万円（前年同四半期比**4.0%**増）



産業資材事業

ウレタンは、寝具用ならびに車輛用が低調に推移し、前年売上を下回りました。

断熱資材は、戸建住宅向けのボード製品をはじめ、パネル製品、システム製品、スチレン製品が伸長し、前年売上を上回りました。

工業資材は、半導体分野向けウエハー搬送用部材が国内、海外向けともに好調に推移し、前年売上を上回りました。

Pick up 第16回キッズデザイン賞受賞

ネイス株式会社と共同開発した「プレミアム・ランディングマット」(子ども用運動あそびマット)が第16回キッズデザイン賞を受賞しました。本製品は高次元の衝撃吸収性と反発弾性を兼ね備える当社独自開発素材「ACROFOAM(アクロフォーム)」を搭載しており、子供の連続運動をサポートします。



「プレミアム・ランディングマット」

<https://www.achilles.jp/news/2022/0826.html>



環境対応フォーム「CRIIN FOAM(クリーンフォーム)」

発泡剤にケミカルリサイクルの炭酸ガスを用いることで、製造時のVOC、プラスチック廃棄物の焼却に関わるCO₂排出量を削減した環境配慮型軟質ポリウレタンフォームです。軽量で難燃性・低反発性なども有しており、幅広い用途に対応しています。



高性能硬質ウレタンフォーム「キューワンボードMA」

“もっと厚く、もっと暖かく”をコンセプトに当社断熱材「キューワンボード」の断熱性能を向上させた高性能硬質ウレタンフォーム断熱材です。断熱等性能等級に新設された最高等級7に対応し、カーボンニュートラル実現に貢献します。



ウエハー出荷容器「プロトスカリア NDM-12」

従来はチップ状に切断加工した後、移し替えが必要だった半導体ウエハーをそのまま搬送することができる容器です。洗浄することでリユース可能となっており、お客様の工程削減、歩留まり改善だけでなくプラスチック削減にも貢献しています。

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2021年9月30日現在	当第2四半期 2022年9月30日現在	前期 2022年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	43,221	49,979	44,428
固定資産	33,929	37,567	35,694
有形固定資産	23,746	27,501	25,499
無形固定資産	347	445	400
投資その他の資産	9,836	9,621	9,795
資産合計	77,151	87,547	80,123
【負債の部】			
流動負債	23,187	26,133	24,406
固定負債	7,427	12,569	7,988
負債合計	30,614	38,703	32,395
【純資産の部】			
株主資本	43,061	43,215	43,997
その他の包括利益累計額	3,475	5,629	3,731
純資産合計	46,537	48,844	47,728
負債・純資産合計	77,151	87,547	80,123

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
売上高	36,431	40,800	75,953
売上原価	28,630	33,090	60,293
売上総利益	7,801	7,709	15,660
販売費及び一般管理費	7,193	7,812	14,804
営業利益又は営業損失(△)	608	△102	855
営業外収益	324	644	866
営業外費用	76	52	127
経常利益	855	489	1,595
特別利益	77	9	927
特別損失	94	51	292
税金等調整前四半期(当期)純利益	838	447	2,229
法人税、住民税及び事業税	205	212	598
法人税等調整額	117	68	105
四半期(当期)純利益	515	166	1,525
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	515	166	1,525

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	当第2四半期 2022年4月1日から 2022年9月30日まで	前期 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,376	△44	4,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,935	△2,793	△5,030
財務活動によるキャッシュ・フロー	△787	4,251	△860
現金及び現金同等物に係る換算差額	345	557	642
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1	1,970	△541
現金及び現金同等物の期首残高	8,129	7,588	8,129
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	8,128	9,559	7,588

注記 百万円未満の端数は切り捨てて表示しております。

「第81回企画展 科学でスポーツいちご一会 ～スポーツと道具のヒミツにせまれ!～」出展

2022年7月23日から8月28日にかけて、栃木県子ども総合科学館(栃木県宇都宮市)で開催された「第81回企画展 科学でスポーツいちご一会 ～スポーツと道具のヒミツにせまれ!～」に出展しました。

「いちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会」の開催を記念し、スポーツを支える道具やその性能・技術にスポットを当てた本企画展。栃木国体のオフィシャルサポーターでもある当社は、2023年にブランド誕生20周年を迎えるジュニアスポーツシューズブランド「瞬足」や自社開発素材「ACROFOAM(アクロフォーム)」を搭載したスポーツシューズ「HYPER JUMPER(ハイパージャンパー)」を中心に出展しました。当社工場の所在する地元栃木を盛り上げるとともに、当社製品の魅力を知っていただく貴重な機会となりました。



「BROOKS 2023 Spring & Summer Exhibition」開催

2022年7月5日から6日にかけて、ライトボックスギャラリー青山(東京都港区)にて「BROOKS 2023 Spring & Summer Exhibition」を開催しました。

展示受注会と試走会を兼ねた本イベントでは、メディア関係者、取引先を中心に多くの方々にご来場いただき、「BROOKS(ブルックス)」の世界観を伝えるとともに、新商品の試走を通じて「BROOKS」の魅力を訴求しました。また、当社とスポンサー契約を締結している「阿見アスリートクラブ SHARKS」所属の楠康成選手(第106回日本陸上競技選手権大会3000m障害4位入賞)、飯島陸斗選手(第106回日本陸上競技選手権大会1500m2位入賞)ら、実際に「BROOKS」を着用している選手にもご登場いただき、シューズについて情報交換を行うなど、会場内も大きく盛り上がりました。



新型「クラウン」に「導電性表皮材」搭載

トヨタ自動車株式会社が2022年7月15日に発表した新型「クラウン」に、当社が供給する「導電性表皮材」が搭載されました。トヨタ自動車株式会社による本製品の採用は、2021年発売の「カローラ」特別仕様車に続くものです。

当社の静電気対策技術は40年来の歴史があり、これまでも製造現場の設備資材・包装材・機器、半導体ウエハーや電子デバイス向けの静電気対策品に活用されています。また、車両用シートの表皮材についても長年にわたる歴史、多くのノウハウを有しており、これらの技術を応用するとともにトヨタ自動車株式会社の協力を得て「導電性表皮材」の開発を進め、「除電スタビライジングプラスシート」*として結実しました。

*運転席のシートに「導電性表皮材」を用いることにより、ドライバーと周辺に溜まっている静電気をボディ全体に分散させて帯電量を軽減。安定した車両挙動に貢献するとともに、より疲れにくく、気持ちのいいドライブに寄与します。

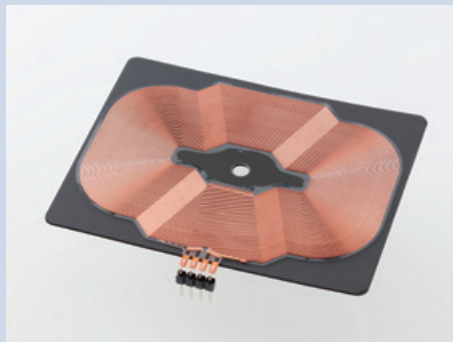


めっき処理技術がTDKのワイヤレス充電向け薄型パターンコイルに採用

当社独自開発のナノ分散ポリピロール液を用いためっき処理技術が、TDK株式会社の製造するモバイル機器（スマートフォン）ワイヤレス充電向け薄型パターンコイル（2022年5月より量産開始）に採用されました。

本めっき処理技術の主な特長として①ナノ分散ポリピロール液を塗工した部分にのみめっきが析出する、②様々な基材への密着性が良い、③エッチング処理が不要なため環境負荷が低い、があります。この技術とTDK株式会社のプロセス技術により、従来の巻線充電コイルと比較してワイヤレス充電コイルの飛躍的な薄型化を実現し、多様な場所へのワイヤレスチャージャー設置を可能にします。

当社はTDK株式会社とともに、さらなるワイヤレス充電の普及を目指し、車室内やデスクマットへの内蔵など、多様な場所への設置の可能性を視野に入れ、開発を進めてまいります。



会社概要 / 株式の状況

● 会社概要 (2022年9月30日現在)

社名	アキレス株式会社
設立	1947年5月
資本金	14,640,795,671円
従業員数	1,275名
本社	〒169-8885 東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー
関西支社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目2番7号 中之島セントラルタワー23階

営業所	北海道営業所 / 九州営業所 足利第一工場 / 足利第二工場 滋賀第一工場 / 滋賀第二工場 美唄工場 / 九州工場
連結対象子会社	ACHILLES USA, INC. 阿基里斯(上海)国際貿易有限公司 アキレスコアテック株式会社 関東アキレスエアロン株式会社 大阪アキレスエアロン株式会社 その他14社

● 役員 (2022年9月30日現在)

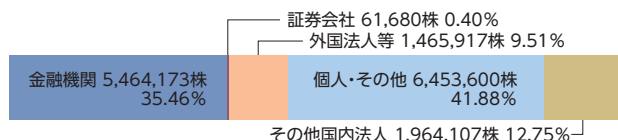
代表取締役社長	日景一郎	
取締役会長	伊藤守	
専務取締役	藤澤稔	(管理部門統轄兼CSR担当)
常務取締役	横山浩樹	(製造部門統轄兼研究開発本部長)
取締役	大蔵勝也	(プラスチック部門担当兼車輻輳資材事業部長)
取締役	本川達也	(産業資材部門担当)
取締役	柳野和晃	(海外事業推進担当兼工業資材事業部長兼工業資材販売部長)
取締役	河野修	(管理部門統轄補佐兼経理本部長)
取締役	佐藤均	
取締役	舘野茂	
取締役(常勤監査等委員)	山田幸子	
取締役(常勤監査等委員)	菊入信昌	
取締役(監査等委員)	須藤美典	
取締役(監査等委員)	有賀智恵	

注記 取締役佐藤修氏、舘野均氏、須藤昌子氏、有賀美典氏および笠原智恵氏は、社外取締役であります。

● 株式の総数等 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	15,862,714株
株主数	13,009名

● 株式分布状況 (2022年9月30日現在)



注記 上記のほか、当社保有の自己株式453千株があります。

● 執行役員 (2022年9月30日現在)

執行役員	柏木功次	(建築事業部長兼デザインセンター長)
執行役員	瀬林弘	(安全環境担当兼製造管理本部長)
執行役員	小松光	(関西支社長)
執行役員	海野実	(シューズ事業部長)
執行役員	根岸康夫	(北米担当兼防災事業部長)
執行役員	松宮稔明	(物流改革担当兼情報システム部長)
執行役員	河原登志也	(シューズ製造本部長)
執行役員	吉田隆	(プラスチック製造本部長)
執行役員	佐藤裕二	(ウレタン事業部長)
執行役員	中野明生	(購買部長)
執行役員	越智浩一	(断熱資材事業部長兼断熱資材販売部長)
執行役員	川島英一	(化成部品事業部長兼フィルム販売部長)
執行役員	小嶋宗一	(製造部門統轄補佐兼生産革新担当兼品質保証本部長)
執行役員	市川弘樹	(人事総務部長)
執行役員		(コンプライアンス本部長兼法務室長兼コンプライアンス推進室長)

● 大株主 (2022年9月30日現在)


株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,729	11.22
東京アキレス協和会	784	5.09
株式会社みずほ銀行	710	4.61
足利アキレス協和会	558	3.62
大阪アキレス協和会	515	3.35
朝日生命保険相互会社	431	2.80
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	375	2.44
株式会社三菱UFJ銀行	352	2.29
株式会社足利銀行	343	2.23
セコム損害保険株式会社	315	2.05

注記 上記のほか、当社保有の自己株式453千株があり、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告 (https://www.achilles.jp)
剰余金の配当基準日	3月31日		ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
	中間配当を実施するときは9月30日		
定時株主総会	6月中		
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社		

株式事務のお問い合わせ先

	証券会社等で株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受取り方法の変更およびマイナンバーのお届出など	お取引の証券会社等	みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00) ホームページ https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html
未払配当金、その他当社株式関係書類について	右記みずほ信託銀行	
株主総会資料の電子提供制度(書面交付請求)について	お取引の証券会社等または右記みずほ信託銀行	
ご注意	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社等に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。	
株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い	・株式等の税務関係のお手続に関しては、マイナンバーのお届出が必要です。 ・届出が済んでいない株主様は、上記お問い合わせ先へマイナンバーのお届出をお願いします。	

株主優待のご案内

お問い合わせは、当社「株主優待係」まで
(電話03-5338-9205)

ウォーキングシューズ「アキレス・ソルボ」などの各種シューズ、そして「ソルボセイン」の特性を活かしたインソール、サポーターなどを100株以上ご所有の株主の皆様へ、当社で選定した商品のカタログおよびWEBよりご優待価格でお買い求めいただけます。WEBを利用してご注文の場合は、「アキレスウェブショップ」で取り扱いしております全商品が優待対象となります(一部除外品があります)。
100株以上500株未満ご所有の株主様は参考小売価格の3割引、500株以上ご所有の株主様は参考小売価格の5割引にてご提供させていただきます。



※写真の商品は「アキレス・ソルボ」です。

あなたの身近にいつも…アキレス

Achilles

アキレス株式会社

〒169-8885
東京都新宿区北新宿二丁目21番1号
新宿フロントタワー
<https://www.achilles.jp>

UD
FONT

